



おもひ其後愈々  
 少年元氣を失は  
 るに及ばず遂に  
 大に衰へて  
 家分の為め種々  
 難慮りし方  
 推察の成りにり  
 在、私事  
 先生の以て  
 はより、返呈  
 御座りませう  
 到底俗物  
 のを未合可  
 私事の  
 坊市にあり  
 と考へ世まら  
 今自斗末  
 以て支那

と老母世に

今自年一末

にいふ那ら

口レヤ一存び

にゆきつたり

にけき柱・居し

ほしとの志一な

とふるの日・先

生の門番にり

産むいらなな

が寝正先生の

は恩の美ありの

一も未だあしは

すは密林と下

なる申よなを

種とる者

樹学人

謹言

甲子

長年

大東 東 柔 牛 區 早 稻  
隈 倉 信 二 殿 稻  
平 信





宣  
府  
街  
鎮  
西  
懷  
序

長  
林  
田  
記